

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立菅原小学校 学校協議会

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

1 総括についての評価

「運営に関する計画」の自己評価結果の総括について検証した。どの項目もAかB評価で、概ね目標どおり達成できたと考える。この総括をもとに来年度の取組内容や指標を検討し、いっそう創意工夫ある教育活動を展開されることを期待し、自己評価を承認した。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：**安全・安心な教育の推進** 評価：B

全市共通目標(小・中学校)

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を72.1%以上にする。(令和5年度72.1%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に児童の割合を74.5%を上回る。(令和5年度74.5%)

学校の年度目標

- 校内調査における「学校は、子どもが安心して過ごせるよう適切な安全対策をとっている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を89.5%以上にする。(令和5年度89.5%)
- 校内調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の1年生～6年生項目について、肯定的に回答する児童の割合78.8%を維持する。(令和5年度78.8%)
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合が73.6%で達成することができた。
- 校内調査における「学校は、子どもが安心して過ごせるよう適切な安全対策をとっている」の項目について、肯定的に回答する保護者の割合が92.9%で達成することができた。
- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は79.8%と上回った。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に児童の割合は80.5%と上回った。
- 各学年で社会見学や体験活動を予定通り実施できた。実際に行ったり触れたりすることを通じて、自律心が養われつつある。
- 学年、学級内での児童のつながりを意識した日々の声かけ、帰りの会でのいいところみつけなど自尊感情を育てる取り組みを行った。
- 菅原カーニバル、きょうだい学年による集会等異学年交流を実施することができた。

年度目標：**未来を切り拓く学力・体力の向上** 評価：B

全市共通目標(小・中学校)

- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を57%以上にする。(令和5年度56.6%)

学校の年度目標

- 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の学習は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- 校内調査における「給食をのこさず食べるよう心がけている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を91.8%以上にする。(令和5年度91.8%)

- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させるという目標は、算数においては達成できたが、国語において達成できなかった。
- 校内調査における「外国語（英語）の学習は楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は85.8%であり、目標を達成した。
- 研究授業、校内研修も目標回数実施された【研究授業20回、研修17回】。
- 授業の中で、交流したり振り返ったりする時間を意図的に取った。
- デジタルドリルは隙間時間を利用したり、週に2、3回は取り組んだりした。
- 学びサポーターを活用することで、児童は安心して学習に取り組めている。
- 3分間読書は予定通り、実施できている。児童の感想も肯定的なものが多く、今後も継続していく。
- モジュールタイムを楽しみにしている児童もあり、習った表現などを使い、会話の力が付きつつある。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は63.1%となり、目標の57%以上を達成することができた。
- 学校の年度目標の、校内調査における「給食をのこさず食べるよう心がけている」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は94.2%となり、目標を達成することができた。
- おおむねスポーツタイムを学期に1回実施した。かけあし週間やなわとび週間を実施し、記録カードにがんばりを記入することができた。
- 長座体前屈と反復横跳びの計測を予定通り実施し、長座体前屈は2.2ポイント、反復横跳びは1.0ポイント、記録を伸ばすことができた。
- 学期に1回、生活強調週間と「ピッカピカ給食大作戦」を実施し、週1回の清潔調べを実施することができた。

年度目標：学びを支える教育環境の充実 評価：A

全市共通目標（小・中学校）

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日数の50%以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く。〕
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準（基準1）を満たす教員の割合を62.8%以上にする。（令和5年度62.8%）

学校の年度目標

- 年度末の校内調査において「学校は情報公開をよく行っている」と回答する保護者の割合を84.7%以上にする。（令和5年度84.7%）

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日数の50%以上にするに対して、校内調査では77.6%と達成している。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準（基準1）を満たす教員の割合を62.8%以上にするに対して、2月現在73.2%と達成している。
- 年度末の校内調査において「学校は情報公開をよく行っている」と回答する保護者の割合を84.7%以上にするに対して、校内調査において94.4%と達成している。
- 教職員が児童一人ひとりに向き合う時間を確保したり、授業の準備に時間を使ったりできるように、職員集合や会議などを必要に応じて計画的に行った。定時退勤日を月2回設定・ゆとりの日を週1回設定している。また、学期はじめの時数を短縮にして、教員の働き方改革に努めた。
- ホームページ、ミマモルメ、学校だよりを活用し、保護者や地域に学校の情報を発信している。ホームページの更新回数を300回以上の目標に対して、882回で達成している。閲覧数は30,000回以上の目標に対して33,864回と達成した。（1月30日現在）
- 令和6年度のミマモルメの登録の人数を90%以上にする目標に対して99.6%と達成している。令和6年度の新1年生は入学前の案内により登録率100%を達成した。
- ミマモルメを活用した家庭連絡を年3,000回実施する目標に対して4,230回発信し達成している。（1月21日現在）
- 区役所や地域防災組織、PTA等と連携した防災訓練を9月に実施した。また、6年は、区役所主催の防災イベントに参加し、災害体験学習に対して意欲的に取り組むことができた。